



本草綱目
卷之五

特別
~5
6698
3



15
6098
3

沙金袋目錄

更衣

給扇

首菱

余花

卯元

郭公

灌佛

新樹

當麻會

杜若

牡丹

付芍藥

若楓

菱

檣

竹子

足掬

競馬

菖蒲

端午粽

早苗

五月雨

付梅雨

夏月

付短夜

標

螢

水鷄

蟬

蚊

廉子

百合草子

世襲

目錄一

美人草

氷室

醴酒

未摘花

鮎

鴉飼

夕魚

祇堂會

夕豆

雲峯

夏衣

石竹 付梅子
亦夏

海松

蓮

富士初雪

嘉祥日

扇 付團

泉 付清水

納涼

清極

雜夏



沙汰家 比

夏

夏衣

暑のゆるや衣は棚の比し比日

未吉

道節

暑のゆるや衣は棚の比し比日

馬淵

宗時

法の師のいふゆるや有衣は夏袷袢

一有

夏衣とくくくくくくくくくくくく

森

墨子

くくくくくくくくくくくくくくくく

珠

以專

あふ系や鱗あもせのくくくくくく

翁舟

あふためくくくくくくくくくくくく

月

洗つらや屏風のみなり交之 大坂 伯貞
 あつこややるん入いせぬ其交 堺 勝明
 眼母子つらり袖之守其交 中嶋 重利
 若くこし心締結のこり交 日 頼廣
 若くこし心締結のこり交 日 松安
 車たたらめらりもよるり其交 日 頼廣
 百友や錢持首めりも交 日 頼廣
 花やさのふらふらりめんの交 日 頼廣
 位まて税若志つら交 日 頼廣
 もたぬ男のわらりも交 日 頼廣

袖乃つらあらせやさふの交 大坂 伯貞
 今朝よりやらそめん卯月一日 堺 勝明
 文やゆいこく交と給よ卯月 但列生野 貞利
 あらうせよなうららぬん 姫路 之利
 久く一重あらせりや 素白 素白
 春のやを繡よして交 日 頼廣
 あつこいふまういふ 日 頼廣
 佛もた金くふ 日 頼廣
 蛇よあつてや首立 日 頼廣
 岡卯月交 日 頼廣

お春と海を及りやうんを衣り入高田 正種
 勢ののこまこしうふ海をいりせき衣正伯
 うら雲とこしうふ海をいりせき衣日
 緯しも糸を海よりの衣を日
 妖化りふふやうふの草衣日
 鳥つとくやびららひのたの綿日
 鞆やうしをせん一の衣入日
 とそくせ衣を山のほの衣衣日
 衣衣のこしうらうけうあや衣勝明
 志うたをうふのしめ衣衣保友

衣又神といひそくふの衣入大坂 貞因
 うふらるやもう母あう思衣入河列 可啓
 塩衣うら吹入せあうら風 善種
 神代ま糸うふやのうすお衣衣 日
 うららるる魁人こしうふそ衣入佐野 教心
 ありうらうらうら神二衣や衣入宇治 貞長
 海の上神やつらをありうら衣入 正在

給扇

たりうらうらなまうらうら扇うら 素白

中夏

三

卯の花のむら園の秋の海よりか 一有

卯の花や雲霞の又あつら 月

卯の雲とあは白川の風の関 光正

苑のまはうつまよのくお嘆きし 常頼

ふりさつらる卯の花くらげを雲あ 燕厚

卯の花や日中の雲の奇しん 道節

あふ吹風る卯の雲おらうる 元清

卯の花乃志落さそ人の能くか 藤永

月う露り玉よのひらあらし花ら木 素白

富士の雲と飛くお根卯の木 実子

せしらの正しんましんうつまらる 正伯

てんじの念を林の花あらし雲見ま 善種

卯の花は風やあてふ玉の塵 月

郭公

鈴屋母く口あけ初よ郭公 貞徳

かうらふ寸髪うらむれみことり 光正

鳴とぶれてうのをとよもあし郭公 月

浄土宗方丈入仏より多れ

初巻の源絶絶の會雁つ郭公 月

湯殿野を形しるる

鳴や志ふその湯殿野のりて鳥 大坂和納 光正

色せぬそふその外ふ孰云 大坂和納 納元

在りぬとらぬのまじかといふ 堺 松安

口がとふふといふ色さくや何鳥 狩野 自亦

ちけといふといふいせよ孰云 月

とく杜宇うそこころやあく蜀魂 西田 翁舟

昔ももやうよ出らぬやうら禪足 西田 定勝

勢やあふすんとたふすむすこれの 月 春元

こころやあふといふなる孰云 月

一勢や自然なる約孰云 月

名のせよあふのたふすん 月

いひといふん勢のあやまら孰云 月

あふやあふといふといふあふ 大坂 月

あふやあふといふといふあふ 大坂 月

勢約りりといふやせり何鳥 未吉 道節

まのといふ勢や人声孰云 堺 月

いふ一勢あふあふもいふ孰云 堺 定勝

一勢や跡絶り一念がとるす 藤永

勢

二

うたて物やまかしの物も小塚 勝之
 玉子よりひんるるそ那大坂 本也
 今生後生二世りか今下 重成
 鳴くは喜きさうすかか大坂 貞良
 かわくしあきさるり孰塚 以專
 友乃門身を入たりか河
 家身の中さるり厨子の孰大坂大佛師
 勢よりる食物の何か泉列符中 重俊
 祿りるいふあ日 霖月
 中下河列金 治長

菓おろしとさるり大坂清泉 大松
 勢を納人い子親敬大坂 喜之
 月交さるり伏見 尚祥
 さるり正法
 法膳前共村 宗清
 いひすも 独去 独来 時多 一有
 千句才曰
 一勢や 庵定 必由乃 孰河
 年馬河 宗畔
 宗畔

初形治や口のりもく乃孰馬云 宗時

得愛ふれ真形よ

あけとらふくも然色座そ此時焉 日

きこれ形やめつらりかそきん 日

月乃梅園懐よまきん

月乃梅やてんうそぬ乃河焉 日

毫若糸福乃河

初形やや試と故乃孰云 日

かきこらひ見れ一代乃らるる乃 政隆

まゆもほこいあきあ孰云 安明

初りあひ日かるるもあけ孰云 宗晴

一形やらふ思ひかきけかきき守 正成

星のもろとくんとり糸水乃光 可水

後野子乃中曰

とくんとく乃形もりかききん 舎次

いあへ乃位かともあけ孰云 光次

夫乃根とく守形そ時此等の舌 一武

とらてあふていふいふそは孰云 為宣

らわらぬ乃形いあふ孰云 宗清

あふあふいあふあふん時焉 正道

泉列符甲

大坂

山寺

高

棟

武村

大坂新田

秘くやう〜中さや其多々何多 大坂 伯貞

教場やさう〜らんつ〜教 大坂松尾 後道

う海〜らと祠り中そ教 大坂松尾 重吹

み〜う中乃秘〜うぬ色そ何多 泉新井中 久治

勢うや〜よふらひ〜や教 生家 霖月

志あ〜の〜いあ〜ひ〜あさり教 生家 元信

西武海勢り何よ

うあ業ら〜やそ〜ま〜勢りよ教 生家 正在

こ〜ら〜らり以ん傳ん教 生家 月

ひと勢や〜人ら〜あ〜うぬ教 生家 月

見れひ〜ら〜ま〜ん〜ら〜ら〜ら〜何多 素白

看〜す〜して勢りや〜らん教 生家 月

勢〜ら〜ら〜ら〜中〜ら〜ら〜力杜能 生家 月

携り取ら〜ら〜志〜ら〜やか〜ら〜き〜と 生家 月

妙満ちの中妙場あ〜

嘗〜ら〜あ〜んめ〜う〜指やか〜ら〜き〜寸 月

あ〜く〜とをけあ〜ら〜り并ら〜ら〜ら〜て多 月

天乃〜ら〜ら〜と勢り〜ら〜ら〜ら〜何け杜能 浅田 月

勢りの教や〜子親杜宇 題杜能 塚 正全

神代よ〜ら〜何〜ら〜ら〜何〜た〜そ〜か〜ら〜ら〜何 塚 一武

昔乃り名もるるも名とげよ杜鵑 利次
金糸をきりて一乃りも久たけりもきん 可雪
夏乃り来やうもと数屋もく物蜀魂 宗家
うらひもとり物と名もきん後つはし 正行
わらひするそ乃りもきんもあけ蜀魂 北村 宗清
只然ひもきんもあけ一たう杜宇 不知著
入うらもきん乃り物かともきん 空子
蜀魂 中乃りもきんもあけ一佛 如真
物骨乃りもきんもあけ一物きんもあけ 簪 紹節
高浦酒乃り解一もあけ一うらもあけ 勝直

もとも花ちるる里もあけ一佛 世村 茂元
りよもあけ一乃りもあけ一佛 樋口 宗也
あうあうの天と志たうきんもあけ 翁舟
とあうあうの天と志たうきんもあけ 鶏頭井 令徳
一乃りもあけ一乃りもあけ一佛 大都 正助
其もあけ一乃りもあけ一乃りもあけ 本林本 秀房
りよのあけ一乃りもあけ一乃りもあけ 春九娘
かんとらうの天と志たうきんもあけ 正近
峯一乃りもあけ一佛一乃りもあけ 光正
意あけ一乃りもあけ一乃りもあけ 日

一勢ふおのみの粒そかごとく正也

月花よ待時乃るもやあひの物友親

身と死てまや出さぬ不帰勝田寺良松

地情あも声あつたよ不水影

身はくをひくふ光春

迷達よつと夜よりり俗暉

縹里いづく父母よ眞竹亭燕享

清製もやうもあつた北村宗清

差うらんぬの事く橋為宣妻

京の後中あそ重吉

昔乃る守り塙正吉

待そつたつた善種

流るる流るる

くさくさ

鳴い鳴い

ぬよぬよ

宗秀

西武

灌佛

誕生のせりの秋迄廿二の出来り
 佛の生念ありとや各りくくを然
 云の事ありとや母ととのり佛生念
 灌佛の経節の環約う那
 以佛といまや主人のうと初め
 名灌をさるる一子う那
 あり物や天のありたる佛生念
 佛信や卯月のふり浄誕生

一有
 光正
 正在
 素白
 正伯
 月
 善種
 月

灌佛の位やとくく浄飯王
 産勢う卯月八日乃がとき守

翁舟
 宗時

新樹

天乃や地うくやうるる其本立
 田のりる丹戸をじめまのり
 風やわくも雨くくも乃る本立
 名つとありとやふし山ありやわくも
 養とそふゆういつけく其本立
 又月ありとやわくも乃る本立

一有
 松安
 勝明
 頼廣
 宗西
 爲重

養

三

強梁う深山乃後う川若葉 光正

斤畧う達磨正宗う夜木うら 農子

柏木も花う女三乃うままう那 日

菱山然こあしらうまの木色夜りうる 翁舟

みうう杉夜う御や 正在

うひうかんううううら夜木うら 正近

云う葉の夜うおん夜や筑波山 頼廣

日あうあさうとあまうせぬ夜りうる 定正

うたの夜う敷色せうんの御うら 松安

ひうらうあさうとあまうせぬ夜木うら 霖月

おなうのさうしうけのうまう夜りうら 文云

折紙やうう入松原乃夜木うら 勝貞

女けうらうむううううらう夜木うら 一雪

猫うのう黄楊も志のう夜木うら 正伯

このうのうまのうまのう夜り合 日

又うのう夜う夜泡乃夜木見 日

乃湯樹乃うのうまのう夜り合 日

あさう夜ううるまのう夜乃新樹乃 善種

花うのう色ううらううらう葉乃 專存

乾伸や又母とある夜木うら 光正

夜

高

六角堂坊

專存

光正

鐘よわきく一ひありし暮れ立
南の茂つとも世なる天王寺
河列小寺 宗盛
宗清

當麻會

これだつらよそあとのおむ神り供養
蓮乃糸生らうふ乃神り供養
小し女もあうひ去るも神り供養
あめたつや舌よ味あふ神り供養
素白
一有
光正
正伯

杜若

こじらさ死色と死後とと杜若
咲とみる人やおう思ふかよ死
さやうかうお聚る世のつとと
は乃あじとひ帽子や杜若
そく露の汗くあかひゆよ死
さうしなま色面長よさけりかよ死
乞やまふ人乃重つくりかよ死
花乃露の玉のみと一り杜若
復しや赤よ似ゆりかよ死
乃のふ神もあさじらと杜若
善種
春元
光正
一有
勝明
知重
素白
自文
正種
榮春

舟 葭の 霞より 白きよ 花 咲 杜の 塚 元定
八 檜の 修 程 成 へ せ の や う き ろ り 日 宗久
冬 河 氷 凍 ち こ う ふ 極 小 杜の 塚 正伯
妙 子 ち り や い ろ は よ 不 下 と 杜の 塚 正次

牡丹 付 芳 藥

西 露 玉 の や 三 種 の 神 器 花 の 王 大坂 廣 通
月 心 念 と 念 と 念 と の う け 女 日 暮 塚 以 專
蜀 夫 母 や ち ろ ち ち ち 歌 の う き ち 草 日
丹 の 交 ち ろ ら び つ け こ や 花 の 王 姫路 摩 安

緋 と く い 延 糸 の 帯 う 花 の 王 大坂 正 成
花 の 玉 の 御 書 つ と め の 風 の 神 大坂吉田 見 利
い け け 軀 の 國 柳 の 舞 う 花 の 王 罌 子 日
ち ろ り 終 末 運 運 の ち ろ う 花 の 王 日
何 か ん の 咲 や 牡丹 も 仙 の 葉 正 伯
風 よ ち ろ や び 牡丹 の 花 の ち ろ う 日 月
ま 死 ぐ さ の の ち ろ う ち ろ う 牡丹 の 翁 舟 熊野右衛門
何 や と ろ ち ろ う ち ろ う 牡丹 の 王 一 入 子
神 代 衣 ち ろ う ち ろ う ち ろ う 花 の 王 松 安
暖 敷 ち ろ 十 と や 十 と 女 日 暮 秋 田 正信

西宮も父母てのありし花の王 堺 一武
 けりりうらる人乃のありしや隣 本坂山 知孔
 八重宮やこらむみ帝花乃王 三 知重
 さうせしむしよあむしよしよの光乃王 忠利
 枝やむしよの光乃王 宗清
 年と光乃王の光乃王 光正
 別天のありしとなふ牡丹乃 素白
 せぬめらむしよの光乃王 善種
 ありしとありしとありしとありしと 重定
 貧僧とありしとありしとありしと 一有

をさくはのありしとあるのふしとま 成次
 ちやくとありしとありしとありしと 正伯
 佛ありしとありしとありしとありしと 太皇免

若楓

山色に紅くありしや 楓 罌子

追文

ありしとありしとありしとありしと 光次

養

交交ささのうらみあひの女法師

北村 宗清

ささのうらみあひのうらみあひの

善種

かろやささのうらみあひのうらみあひ

一有

紫垣の園うらみあひのうらみあひ

石倉 一入子

折あひくささのうらみあひのうらみあひ

藤永

都よりあひのうらみあひのうらみあひ

塚 成政

神ささのうらみあひのうらみあひ

正伯

めいささのうらみあひのうらみあひ

光正

日置のうらみあひのうらみあひ

素白

花のうらみあひのうらみあひ

塚 松安

風ささのうらみあひのうらみあひ

森 伯貞

急ささのうらみあひのうらみあひ

大坂 菅庵 円知

咲花ささのうらみあひのうらみあひ

素田

橋

橋や白のうらみあひのうらみあひ

正在

橋乃ささのうらみあひのうらみあひ

赤古 道節

むうささのうらみあひのうらみあひ

素白

神乃ささのうらみあひのうらみあひ

一有

橋のささのうらみあひのうらみあひ

光正

橋乃まうさやじうおとこ竹 大坂 好道
 橋の基一三三三三 皓く水 橋 重吉
 橋乃らりくくじう一力丸 着 吉長
 後のさくもやじう一えん孫ん 着 正時
 じう一りふ花橋や廿日 着 宗畔
 おゆひと雨さふまふ立花ハ皇子 着 正伯

竹子

おん衣るんさくらさくおとこ竹 碑 正定
 日つせぬ竹の子を也親のひ 日 一哉

孫さくらさくや山本初ら女竹 泉列 不羅者
 十あさくみんさくさく七九竹 大坂 祐友
 云孫あさくさくさく 大坂 正成
 そのさく一おあさく竹乃さく 大坂 光正
 ともさくともさく 大坂 素白
 山伏乃あさくや院跡のま竹の子 大坂 月
 うけうそのまれとやい 大坂 松安
 りふ乳乃竹乃子 大坂 正在
 竹乃さくや 大坂 翁舟
 えさくさく 大坂 知足

竹の子乃らそ中お住らとせうか 小寺村 秀盛
根とやるや子とばらます乃女竹 勝直
竹のこそまきまきくふじの今年 堺 松安
乃竹とくまきまきくふじの今年 日 定利
志のまきまきくふじの今年 河列 宗信
つらまきまきくふじの今年 堺 以專
女竹門楣とまきまきくふじの今年 堺 正伯
竹乃子の端くふじの今年 堺 日
とくまきまきくふじの今年 日 日
地乃徳よ竹乃子とくふじの今年 日 善種

乃竹乃らひのり 高野山 春悅
くふじの今年 大坂 寺胤
竹乃子 甲 信光

足揃

乃竹乃らひのり 高野山 春悅
くふじの今年 大坂 寺胤
竹乃子 甲 信光
乃竹乃らひのり 高野山 春悅
くふじの今年 大坂 寺胤
竹乃子 甲 信光
乃竹乃らひのり 高野山 春悅
くふじの今年 大坂 寺胤
竹乃子 甲 信光

善種

競馬

くらんきふの神まのまがひは
 のららさうちまの競るが
 わたらくらんきふの競るが
 ひとくせひくは 競る
 双ふらねまのまがひをくま
 系うけり一存わらまのま
 二海まのまがひのゆん競る
 母のまのまがひの競るが

先正
 正伯
 一有
 重利
 正近
 善種
 素白

競るまのまがひの競るが
 重次

葛蒲 付端午
 粽

葛蒲刀がふららたまめは
 めれともやまを野のわあまは
 朝のわあまのまがひの競る
 葛蒲刀のまがひの競るが
 人のたまがひのまがひの競る
 小がたまがひのまがひの競る
 又まがひのまがひの競るが

善種
 正在
 先正
 月
 日
 一化
 野合
 正壽

わしらのふき式部よは花鳥蒲
 素白
 かつら福やいんづらの雲鳥蒲
 正伯
 おしらのつらひよはるる鳥蒲酒
 月
 新のふらわらと妊め蓬の矢
 月
 夕のまらうとるわらわらうれ
 北村 宗清
 わやめまをせはうとらうと蛇若小
 大坂横本 了首
 瑞午よの精ぬくうと人標乃粉
 一雪
 風来うとあしとまらうと芦標
 素白
 鳥蒲乃うとふは新のらまらうと
 善種
 わしふまらうとせまらうと色標乃故園小
 月

せはらのふき

せはらのふきとあまらうとひよは藤標
 月
 新のふらうとふら鳥蒲やまら
 月
 わしらのふきとあまらうとそのふ
 善明
 竹のふらやふ代よふ代乃藤標
 月
 鳥蒲乃とせはらひはらわらうと
 大坂 貞因
 素白やたまらふ代乃らうと
 翁舟
 新のふらうとふらひよはるるわのかり階
 高田 正近
 年よとあまらうとふらわらうと
 正種
 如うと難波のまらうとや芦標
 勝直

早苗

わくわくする愛とわくわくする早苗川 光正

徳野千句や又

高代とく人とのあはれと早苗川 月

雅伯女やあまの住む所の田植 一有

早苗とくひさしやつうにお稽言 直正

五月のや田植の時の様は如 辻子 勝之

影とみく後や早苗の時の作 姫路 元利

植ふ田の知れよとわくわくめん 中嶋 貞晨

こころとくあまのひの田のすけ 貞則

植ふまじりや神乃住るとん 埴 成政

しらまじり羊の月意の田のすけ 音 春元

あしあまのあはれとつうんは田のすけ 新 正種

隣つうく植ふのあまのあはれ 新 信可

早苗とく是乃のあまのあはれ 音 正伯

碩とくそ乃の苗とく田植のすけ 月

五月のや植ふ早苗の光乃のま 正在

あまのあはれとくたまのあはれ 音 月

つうくとく徳輪田のあまの早苗のすけ 善種

世襲

廿三

み月ぬいかりの曇るのりぬ中一善種

しめくつるみ月ぬいかりの曇るのりぬ中一一有

み月ぬいかりの曇るのりぬ中一正伯

月一丹列宮津の曇るのりぬ中一日

み月ぬいかりの曇るのりぬ中一定勝

ありきよとくきやゆらん梅のぬ塊頼廣

月も月色かゝる梅のぬ泉列横秀秋

なりの曇るのりぬ中一母乃作

をくつる梅のぬ

らりしる梅のぬ正伯

花らりしる梅のぬ硯忠政

はかの曇るのりぬ中一秋田正信

花らりしる梅のぬ

為候やこがとく梅のぬ素白

巴枝とく梅のぬ光正

廿月 付短歌

月一勢列の曇るのりぬ中一加友

月一上山の曇るのりぬ中一正光

廿月一幸田の曇るのりぬ中一正舎

貴園のおくやうそ月庭の雲 氏長
 経教のや歌回りの胸乃月 素白
 春の日にや入つるまじり 後戸 西夕
 雲程のありし色立や夏の月 大坂 納元
 夫乃乃るまじりてちやいつ夏の月 堺 松安
 経教のよ小麻乃の角のりり 堺 正伯
 まじり月とつひのうらや夏の月 宗時
 夏の秋のうらまじりてちやいつ 宗時
 然就院とあかす
 あくくしそかき月経のや夏の天 貞徳

標

花乃夏のお雲乃程まの標くれ 清泉 宗秀
 一まじり風乃あまのま 越前山前 元樂
 舟人や舟よのうらま 河内 吉次
 一まじりせんとまのま 大坂 少斗
 月乃まじりんまのま 光正
 せんらんも風乃ま織のまぬのま 正在
 雲のまあまのま 素白
 ののあまのま 一有

重正の角よちりふの螢のひのるまが
氏長

螢

螢の角よちりふの螢のひのるまが
氏長

螢の角よちりふの螢のひのるまが
氏長

螢の角よちりふの螢のひのるまが
氏長

螢の角よちりふの螢のひのるまが
氏長

螢の角よちりふの螢のひのるまが
氏長

螢の角よちりふの螢のひのるまが
氏長

螢の角よちりふの螢のひのるまが
氏長

螢の角よちりふの螢のひのるまが
氏長

螢の角よちりふの螢のひのるまが
氏長

螢の角よちりふの螢のひのるまが
氏長

螢の角よちりふの螢のひのるまが
氏長

螢の角よちりふの螢のひのるまが
氏長

螢の角よちりふの螢のひのるまが
氏長

螢の角よちりふの螢のひのるまが
氏長

螢の角よちりふの螢のひのるまが
氏長

螢の角よちりふの螢のひのるまが
氏長

螢の角よちりふの螢のひのるまが
氏長

泉列符中
重俊

大坂
正成

日

日

日

春
春方

正重

日

日

日

留
定勝

佐治
三郎丸

正重

徳入

佛具師越後
定信

正次

氏長

火をきしとりつるをいふ月又曇り

大坂山 友之

る化してあつくを曇り先火小

堺 松安

解く乃と曇りやあつ内一秋酒

泉列舟中 尚祥

月乃秋の曇りやあつくあつく

大坂加納 宗勝

降去ふりちりどひくよと曇り

納元

秋ふか納りや大工乃婦夫お曇り

堺 勝之

ゆくちもくもく曇りぬくくく

堺 以專

ひこのころか乃のころ曇り

一雪

秋ふりくく曇りくく入 曇り

但列生野 成政

の云くくく入 曇り 似くる 曇り

正為

丹ちよぬひのきをくくく

河列松原小野 常祿

ひくくく曇りくくく曇り

直正

ひくくひの月乃秋のくく曇り

泉列舟中 霖月

りしりくくくくく曇り

河列 三政

曇り乃秋と曇り曇りやひく人物

秋田 正信

曇り乃大乃月とくく曇り

河列松原 安致

曇りくくくく曇りやひく向

浅野 善本

茶師あよよと曇り曇りや十二灯

堺 正全

あつくくくく曇りや曇りくく曇り

常順

くくあつくと曇りくくくく

尚祥

其むじしおひふひのさむいさむけ 自承
 螢火やうらのつ河乃るるれみの 忠治
 うやまうらむるのさむいさむ 清水 宗秀
 ひのふのさむいおらぬさむい 翁舟
 柳をくしてまよわらぬさむい 不狂者
 石川乃さむい貪むらあし 素白
 取らぬいなくそ付さむい 光正
 ひろいひつ道徳乃務本とさむい 一有
 経書や秘とよさむいひらり 正在
 螢火や己う力をさむい石乃竹 正伯

夕へいふひてさむいさむい 日
 其ら火のつよさむいさむい 日
 こころやけりさむいさむい 松安
 さむいさむいさむい 利重
 約乃約さむいさむい 以專
 一生をさむいさむい 由貞
 さむいさむいさむい 宗勝
 さむいさむいさむい 吉次
 さむいさむいさむい 安致
 さむいさむいさむい 正近

居る黒くもつらふ雲乃のまげのそ 森 了首

あつこく瓜三片火花の雲う那 堺 喜教

虎よつとくつり付雲のひさんふ 有馬首并 重英

かめねをとり賣よあつりし雲あふ 宗秀

魂儘乃玉や 雲乃二正つま 宗畔

ひとくまやのくくくくくくく 善種

ふハくくやるまふの雲よとく雲 日

うけ火玉といふん秋代乃雲 日

あよふも虎やのや 桂 吉重

うきくくくく秋の雲とく物乃月 寛好

雲くく玉虫 雲乃れもひの火 中嶋 貞辰

あ鶏

かきくくせよくくあふの料理 武村 宗清

あつこくあふあ鶏や小田乃あのか 政次

あつ箱なまふくひん今もくあふ 正作

あつくく名くくくくあ鶏 貞則

一夜のりもハふあふあ鶏 素白

蟬

王祥うも瓜いつく死るく蝉の巻 泉列存中 霖月

六月乃瓜の虫をまらりく蝉乃の号 姫路言 正俊

冬を扱やふくもこ乃くくも久 一有 可友

冬乃乃乃結とそ一う蝉乃乃号 廣友 可友

うも人らとあしし深山のせも此号 一有 廣友

ももいつけいあを蝉とるるあよ少 善種 一有

風も羽いののつまよの蝉衣 正伯 善種

寺とあく吟外とるや蝉の治 正在 正伯

依歌のの蝉乃衣の羽感つ飛 光正 正在

只瓜ひくく維摩よあく人蚊の治 光正 正在

うくくやあつよの獲ある蚊の治 堺 松安

三月後つと鳴や三益蝉の治 橋 素白

施すいゆそは家いゆし蚊の治 丹波 重吉 重吉

扱り色り美扱るあらしし蝉の治 丹波 清茂 清茂

くりあし一獲やせんく千部治 不知著 不知著

蚊

臂よ付蚊乃血も虫のまらり 河列 一十 一十

あく蚊の蚊扱るのからあや 堺 正重

蚊扱もさつらあらしのあま 光正 光正

風さるる後人乃る夏や屋より蚊を
堺 勝明
 いやてる可なり巻うやま乃るま
 食つら蚊起る拂ふらるる初か
大坂 正隆
 夏乃る秋の蚊屋の徳進思人のあ
堺 正也
 蚊をよ白巻はくする帯懐れ
 おらるの世の初めつとむ徳進蚊屋
 太源
 くぬくともなりし障乃る教蚊う非
 素白
 蚊をあらして人やうとゆふ初らけあ
 一有
 雲乃る息天とよるや蚊屋乃る心
 川
 ありさるるのふおあうらの蚊帳か
 正伯

ち成りくやんてさるる一様 川
 蚊よらるる人やうゆさるるうく推
大坂 正成
 夏乃る秋の月乃る初や蚊のまら毛
北村 宗清
 うらるる寝も人の初る蚊の朝長か
河列巻品 一十
 蚊をよらるる人さるる紙帳か
大坂 了首
 積や文さるる初らるる蚊屋乃る心
泉列横山 秀親
 蚊乃る初る蚊乃る心乃る初らるる
石君 一十
 蚊よらるる蚊の初らるる夏の言
勢列 忠政
 蚊屋よのこまらるる初らるる初
吉田 加友
 うらるる初らるる初らるる初らるる
吉田 正俊

蚊帳

七二

百合草

車百合 咲も羊麻 六月 朧水子

黄よ 咲やういんのろの車百合 大坂 可加

ろくろいよ 咲 鬼百合も野守 河内金田 吉重

花さうくろいよ 咲 や車百合 大坂小西 正治

鬼百合のろくろいよ 咲 や花乃虫 重利

色風色わくろくろいよ 咲 や小塔百合 春元

花乃虫のろくろいよ 咲 や車百合 正伯

入つこいよ 咲 乃花乃虫の車百合 同

非百合も 鬼百合も 咲 乃人の種 正教

色いろうくろいよ 咲 乃人の車百合 堺 松安

美人草のろくろいよ 咲 や花乃虫の車百合 平尾 幸以

火さうくろいよ 咲 乃人の車百合 善種

莖や種りもくろいよ 咲 や車百合 外 素白

百葉のろくろいよ 咲 や花乃虫の車百合 重清

美人草

乃花乃虫のろくろいよ 咲 乃人の種 高田 正種

おくろいよのろくろいよ 咲 乃人の種 堺 以專

高田

堺

釣舟のいすし〜人ともるや善人善
大坂 貞田
 繪書母をこまゐるひじし善人善
堺 松安
 月心慈や花さうの善人善
月 頼廣
 月心慈や花紋とくか善人善
種沢 貞重
 善人善花乃とさうや善人善
 憲之
 花乃王のあさうとさう人善人善
 正伯

氷室

さうの氷室敷さう月とさうの善
素白
 雪の舞もさうの山はは氷室小
正在

鎖と雪〜わづひの涼〜氷餅
正伯
 ひとふふの雪とさうの氷室小
月
 氷室母やきほつ不後雪佛
勝直
 くらく〜つらさうのさう氷室小
高田 正種
 代も河もあつ〜たかんさうの氷室小
素白
 涼〜さうの利の一俵の氷室うさ
月
 京中もさうのやもさうの氷餅
光正
 玉とさう〜こ代乃帝〜氷室守
月
 皇や〜もさうのさうの氷餅
善種
 色らわかい〜んと信と氷室うさ
一有

ころたぬりおとくくくふの氷餅 月
 まさきや日こふ厚つくく氷室ち 翁舟
 甚の日の里あこ氷室やあせ偏 玄保

醴酒

そやこくそあやゆせんの一和酒 大坂 好道
 あくくひよ味もかりきり一和酒 勝之
 破せくそ一和やあきうひかきけ 大坂師師 壽清
 吾ありせくくそ一日一和酒 越後大塚 徳入

未摘花

花や濃さくくれあめと朝のいろ 素白
 そめくそん未摘花よのころち帯 正在

粘

粘りくをくもや金もくわは川原 貞農
 粘りやあきりくもあおさくく 正在
 いそく心あつ川り粘の臭 善種

鶉刺

鶉はらひや川はらひの血わき
 女あそく月はらひや鶉刺
 夕言のまらひや鶉刺
 鶉やはらひやあそく
 鶉つらひこけあそく

大坂

貞品

同

貞因

正伯

月

素白

夕白

夕白やおまよふた 花乃眉 成政

夕白かやうふらふら
 夕白やうらふら
 夕白かやうらふら
 夕白かやうらふら
 夕白のまらひ
 夕白のまらひ
 夕白のまらひ
 夕白のまらひ
 夕白のまらひ
 夕白のまらひ

河州卷田

一十

大坂

貞因

郡山

正辰

素白

善種

正伯

月

納元

被園會

被

七

人足りの三後堂を云ふかうらうら

朝言 観清

後堂を云ふやうらうらとていふ山

藤三

八子洋と引や八坂乃神奈

素石

神のゆらたうらうらとていふ山

正伯

月洋やみうらとていふ山

月

蒲洋とも引や引葉後堂を云ふ

勝直

後堂を云ふのおよら神のかうら

善種

鞆船を云ふを催してうら洋の月

月

氏神とてうらとていふ山

光正

菊のや月洋のゆら天津屋

定勝

後堂を云ふの洋や八坂の塔の音

中嶋 貞辰

山崎のうらやうらに後堂を云ふ

堺 春吉

長刀のうらとていふ山

一有

程山のうらや孔子のうらとていふ山

善種

山崎のうらや山崎のうらとていふ山

大坂 翠子

うらとていふ山

素白

八坂のうらとていふ山

正在

白西

夕立のうらとていふ山

藤 紹節

夕立らぬくひつたる天氣うか
 夕立らぬくひつたる天氣うか
 夕立らぬくひつたる天氣うか
 夕立らぬくひつたる天氣うか
 夕立らぬくひつたる天氣うか
 夕立らぬくひつたる天氣うか
 夕立らぬくひつたる天氣うか
 夕立らぬくひつたる天氣うか
 夕立らぬくひつたる天氣うか
 夕立らぬくひつたる天氣うか

一有

頼廣

正重

春元

可友

重悦

安明

重連

宗次

素白

江守

三

夕立らぬくひつたる天氣うか
 夕立らぬくひつたる天氣うか
 夕立らぬくひつたる天氣うか
 夕立らぬくひつたる天氣うか
 夕立らぬくひつたる天氣うか
 夕立らぬくひつたる天氣うか
 夕立らぬくひつたる天氣うか
 夕立らぬくひつたる天氣うか
 夕立らぬくひつたる天氣うか
 夕立らぬくひつたる天氣うか

正在

月

光正

正伯

月

不釋者

永雪

復晨

家勝

一武

七乙

夕人三つてるものかとも他は西
 一安致
 山友のやあつらうは子の夏知
 一笑
 夕人三つてるものかとも他は西
 正納
 山友のやあつらうは子の夏知
 正成
 夕人三つてるものかとも他は西
 教心
 夕人三つてるものかとも他は西
 宗時

雲峯

夕人三つてるものかとも他は西
 藤永
 夕人三つてるものかとも他は西
 大坂
 夕人三つてるものかとも他は西
 曙子
 夕人三つてるものかとも他は西
 一有
 夕人三つてるものかとも他は西
 素白
 夕人三つてるものかとも他は西
 正伯
 夕人三つてるものかとも他は西
 光正
 夕人三つてるものかとも他は西
 正在
 夕人三つてるものかとも他は西
 廣友

山友

先師幸の九念の芳句よ

うきうきしてあつあつあつしし友家 正伯

あつあつ今あつあつあつあつしし 月

あつあつの惟子あつあつあつあつしし 京 正茂

千句中入

蓮のあつあつ織やあつあつあつあつしし 光永

かたあつあつあつあつあつあつあつしし 素白

福とあつあつあつあつあつあつあつしし

あつあつ折あつあつあつあつあつあつしし

あつあつあつあつあつあつあつあつしし

惟子を祝ふあつあつあつあつあつあつしし 貞徳

石竹 付惟子
庵名元

二あつあつあつあつあつあつあつあつしし 北村 宗清

あつあつあつあつあつあつあつあつしし 西田 定勝

あつあつあつあつあつあつあつあつしし 河原寺 重久

あつあつあつあつあつあつあつあつしし 堺 素白

あつあつあつあつあつあつあつあつしし 松安

あつあつあつあつあつあつあつあつしし 如真

あつあつあつあつあつあつあつあつしし 望月 正武

根やわらうてまぬれく見石乃竹
 接子より下福乃あうをそら
 敷志のいとすうわや庭の石乃竹
特野 自女 善利 吟夕

草乃病ことさぬせしし乃竹
塚 以專

石乃折よおろろや花乃玉柏
大坂 伯貞

ふかりわらあうらとる石乃竹
河列小寺 空昌

そぶらぬよのこきてしと花の下
 春元

接子よりまのりりともうらま
 善種

砂のあやふす床又乃花島
 春元

海松

松原を海松とあせらるるの海
堺 宗安
 花乃海平あ乃うとてかあなる
 重賢

蓮

花よまき折ても十乃蓮花
膳所武村 宗清

の海あまき句や汚風白蓮花
姫路 一介

身かしのいけく蓮や竹乃竹
 素白

せん乃ふのあり 白蓮花
 光正

見よのけよ周家志ある所の蓮の花 光正
 いまそなたそみるそこのけり乃蓮小 正伯
 おもひはくよあまし葉よけの蓮小 月
 ちらほくの花さくけのあまきくれ 正在
 いけ花とをのつらなるけきく井 可友
 甚なる葉よあまし葉よあまきくれ 一有
 柄高野りきき乃蓮小もあまきくれ 翁舟
 いけあまきくれを佛乃蓮小の花 成政
 蓮池もあまきくれのあまきくれ 宗次
 泥乃中へ四十余年の蓮乃花 本住
兵庫

久外よあまきくれのあまきくれ 塚 頼廣
 露乃玉や甚き花のうへ乃金利佛 勝直
 名の埴らるるけりよあまきくれ 善種
 うめ版のむ録乃蓮の花純うふ 塚 以專

富士初雪

花よ紅葉ふ富士乃初雪の百首立 素白
 雪よや乞一期初雪と六川の花 正俊
 富士乃雪いつらや夏の濁り水 可啓
 び雪をけり麻子や富士の雪 正種
高田

長い力とよしとけらるる甲斐の雪
大森
正伯

嘉祥日

嘉祥の雪り月色志とくもる千六秋
堺
以專
せよふの菓りらるる嘉祥日
正在

麻付園

長乃雪の霜よなるまぬ麻のれ
椋梨
一雪
折目らめ二目はるるの麻のれ
姫路
學

武志麻入の雪やうのち
堺
以專
風のそら家かよらるる麻のれ
日
家勝
おろ福とそ青の地ははるる麻のれ
茂利
あつこ日いじあけ結との麻のれ
素白
いとせめく急風あつ麻のれ
日
清政
日乃中や度麻めそ地とあり
大坂
清政
か福あつも家そこのゆへそち麻
堺
松安
あつけ麻あつこの地とあり
清長
りみこといそん月乃麻のれ
河内
二十
たつとある麻のれ
氏長

か祿おらふあふささ乃外きか祿ら
 とうとあふささ十本骨や八九竹
 日月と神ようらうら色扇う非
 従て急うく乃扇の地うさう非
 うまりのあさよつけてやうら扇
 勝りよさすあふささや風の志のめ折
 繪よ書し花さ入風よあふささか
 十とのくか祿を折らる扇うか
 るよささうら折紙乃扇う非
 扇うよふりうらうら風と扇う非

藤永
 春元
 光正
 正伯
 一有
 長正
 勝安
 經宣
 正輪

秋まうさくあや鞠場の扇工事
 ゆのわりく獲や扇も十二か
 わく風らうら色とく地の扇う
 折こさるもさるや扇の銀うかめ
 扇あさあふささ入あうれ
 扇うらうらうらうら扇うれ
 とらうらうらうらや拂ふ或ら扇
 扇を繪乃扇の風い雪吹ら
 つかあさや神さうらうら扇

紹節
 松安
 正重
 一雪
 日
 正貞
 本也
 善種

扇うらうら

姫路

扇

扇

そらぬの骨をひらむく
も糸ゆよおひらむく

親骨へのりよこゆへ麻の糸 北村 善種

風月乃女よとあふ麻の糸 北村 宗清

筋連麻乞う月乃氣喰 北村 正在

持よあ乃よこら斑女乃麻の糸 北村 貞則

源氏者うてまやむじうの糸 堺 以專

業うは周わら色んやの細糸 京 政次

とるやそとこあけの涼し 大坂 休閑

意いあうむじよん死念うら 京 正景

外い風涼る月乃うら 斤山 道德

公美つい出ぬうら 紀勢田 利次

泉 付清水

涼しとやぬを松橋のうら 揚列 元奇

涼しと成破風や 大坂本平 素白

空より入る泉や 大坂本平 伯貞

じよとけはあ引あ 泉列 善種

ふららあひ人色いつ 泉列 政延

神のらむむ 泉列 信就

弱とめくも総といはるる情あり
三礼よりくしむる病の清あり
じとあふも只一のまや鬼清あり
正重
宗清
正伯

納涼

新くひ物や花を風月夕涼之
石山や清は涼しき世の院
涼しきやふかきは冬乃之涼ん
川をゆりよ涼しき物や芝草を
波や鞆とくもゆるまひ夕涼之
勝明
秋秀
正在
正伯
正宣

涼しき端者よお暮るる世

とあふもあらしせし

とせらるる戸よ風りやうわる大お暮る
夏しきと買入り立てや南風
のこころももろや石井の夕涼之
月やうへ本陰涼しきまりのこころ
あせらるる志くくもあはやく夕涼之
涼風や月を秋乃おさめ物
大坂
墨子
素白
日
可是
元利
光正

伊勢名奥めり

そとら立風や涼しきあ午鈴音
善種

原くさや家の位乃たうむしる 善種
柏木能本末乃風や薫るふ系 友以

御後

中とよの神代よりしもの後うれ 光正
後とよの紀乃孫直や力と光川 一峯
蚊とよのかわのいとあつきの後うか 勝明

御名よ福く

三川うさいのうさきふく後うれ 大坂 墨守
ちよのあさの神祇乃外り虫とくく 光正

夫然とうとうまは後や比の神 素白
ちよのあさのちよのあさの川 高 正種
おとろ川乃結の結も後うれ 勝直
みさやや園のそとくふの賣拂 一十
公やせらふひらるる後 善種
神のうけよとくしとく後 正伯
昔とくふとくふとくこのむしる 日
光正

川のあさのうさきふく後うれ 一有
つよとくくとくくとくく後うれ 紹節

雜書

梅乃尾の新茶のついでに
くろおろし一袋のあつらえ
しげお難ううらやうおわり
おつらううらやうおわり

六月の梅乃尾のついでに
くろおろし一袋のあつらえ
しげお難ううらやうおわり
おつらううらやうおわり

貞徳

正次

成政

定正

梅乃尾の新茶のついでに

翁舟

新茶のついでに

素白

濃くのおろし

成政

くろおろし一袋のあつらえ

松安

梅乃尾の新茶のついでに

正伯

くろおろし一袋のあつらえ

善種

梅乃尾の新茶のついでに

好道

くろおろし一袋のあつらえ

忠富

おつらううらやうおわり

以專

花よとや牙の好ましくぬ大山株 堺 家勝

其さうりんようしたぬをくの大山株 善種

りんあう葵うりう梅乃紺のよ 河列小寺 吉重

二本あふ葵すりて死をうりう 河列小寺 秀盛

物うりあやしららわたるま山株 正伯

涙あいの思さる後うひり 堺 勝明

引あめの年 日 松安

いひく 久田 正次

知つらう 姫路正舎 息女

樂あ 斤山 道徳

中くよ 素白

ぬ 秀勝

神 光正

実 以專

善 重俊

身 正伯

鳥 兼正

ぬ 大坂前 茂利

梅 越前川 元樂

あ 一有

故ちりたもも風鈴のつんづか 善種

ふりつらふらふら梅志のふらふら 勝明

も梅のふらふららのふらふら 景秀

ふらふら花やつらふらふら 吉丸

あふら花千あふらふら 正義

あふらふらあふら 貞正

先師草乃丸金万乃り

ふらふら小神のふらふら 正在

あふらふらあふら 幸治

あふらふらあふら 貞辰

次居ふの男いふら

つらふら林乃花のふらふら 素白

あふらふらあふら 川

あふらふらあふら 宗研

あふらふらあふら 重吉

とらふら

あふらふらあふら 教連

あふらふらあふら 吉次

あふらふらあふら 本貞

あふらふらあふら 正伯

泉列

堺

大坂

大坂

有馬

夜

中嶋

美女のこころのちたさるるやあえん 正伯

さうさうのまふふの孔子のほけり 月

お雲のまふふのひらひら 月

ゆきゆきよのせんら 月

おもたらの根のさへめ 紹節

おおろ二ヶふりの園 月

ちまを何のせんら 雅元

こつ汁 勝直

あさ 一書

あさ 信就

さうせとくや一念 朝日宮 観清

ひととこ 塊 元定

花よ 翁舟

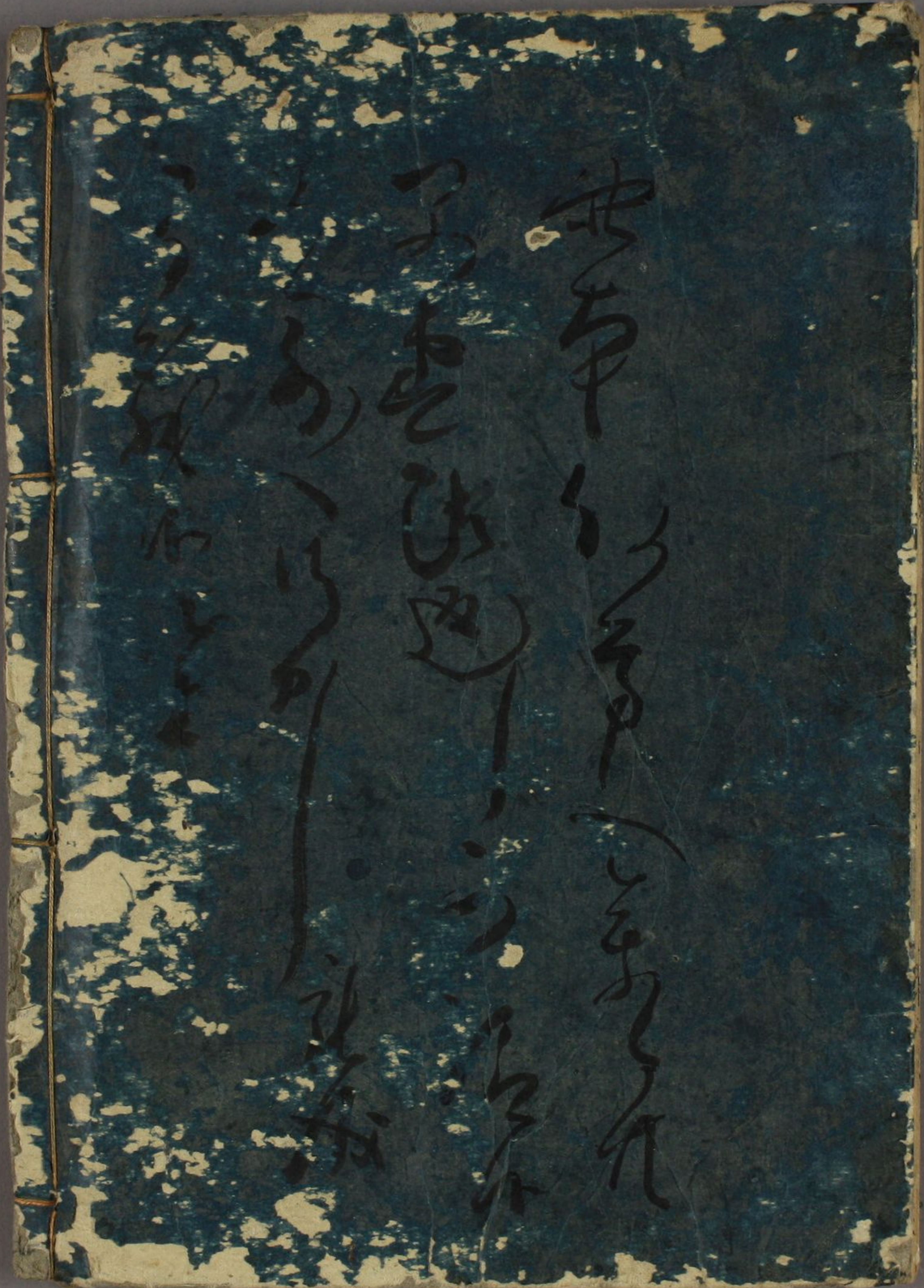
あま 正伯

黄檗 正在

あぶ 素白

霍乱 正在

沙金傳



武庫中
の
書
目
録

一
書
目
録

二
書
目
録

三
書
目
録